

# 令和元年度 教育委員会 第21回定例会 議案

- 1 日 時 令和2年3月11日（水） 午後1時30分
- 2 場 所 教育委員会議室
- 3 報告事項
- 4 議 案
  - <非>第48号議案 教職員の懲戒処分 …非
  - <非>第49号議案 教職員の懲戒処分 …非
  - <非>第50号議案 教職員の懲戒処分 …非
- 5 閉 会



## 第21回定例会 報告事項

番号	項 目	Page
1	特別支援学校の臨時休校に係る対応について	1
2	保育プロセスの質リフレクションシート	2
3	ネット依存対策事業の推進	3



## 特別支援学校の臨時休校に係る対応について

### (要 旨)

3月4日からの臨時休校中、特別支援学校の幼児児童生徒について、やむを得ないと認められる場合は、各学校で受け入れている。また、臨時休校措置に伴う学校給食及びスクールバス運行に係る費用・取扱いについて、原則、保護者等に負担が発生することのないよう対応する。

### 1 特別支援学校における幼児児童生徒の受入れ人数

学 部	3月4日	3月5日	3月6日	3月9日
幼稚部	1	0	0	0
小学部	45	34	30	31
中学部	19	21	14	22
高等部	28	30	25	35
合計 (全数に対する割合)	93 (1.9%)	85 (1.7%)	69 (1.4%)	88 (1.8%)
うち医療的ケア児	14	11	10	6

<参考>市町立小中学校の受入状況 (3月4日受入れ分) ※政令市は除く

受入学校数：9市町の124校 (小学校112校、中学校12校)

人 数：1,576人 (小学校1,568人、中学校8人)

### 2 学校給食に係る対応

保護者から徴収している給食費、業者から納入されている食材、委託している調理業務についての取扱いは次のとおりとする。

給食費	3月4日以降分は、給食を中止したため保護者に返金する
食 材	既に納品されている食材について、ほとんどの食材が保存できるものであったことから、給食再開後利用する。発注していない食材については、納品見合わせ (費用負担なし)
調理業務委託	委託契約に定める契約金額のうち、調理員など人件費相当分については、給与を保障する観点から、契約に定めるとおり支払う。

<参考>市町立小中学校の学校給食費の対応 (3月6日までの聞き取り)

休校日数分を保護者に返金：17市町

納品済み食材費等を除き保護者に返金：13市町

検討中：5市町

### 3 スクールバスに係る対応

委託しているスクールバス運行業務については、運転手など人件費相当分については、給与を保障する観点から、契約に定めるとおり支払うこととし、使用しない燃料に相当する金額については減額し、そのための変更契約を締結する。



## 保育プロセスの質 リフレクションシート

(義務教育課幼児教育推進室)

### 1 作成の趣旨

保育は「環境を通して行う教育」であり、その多様性や曖昧さ、また評価の難しさゆえに、保育の質の向上に向けた研修のあり方はどの園においても課題となるところである。そこで、静岡大学教育学部 田宮教授との共同研究により、自園の保育プロセス（環境構成やかかわり）について、子どもの姿から振り返ったり、幼稚園教育要領等で求められている視点に沿って自己評価したりすることのできるツール（本シート）を作成した。園内研修においてこのシートを活用することにより、保育者同士が対話を重ね、明日の保育に向かう手がかりを得られる研修が可能になるものとする。

なお、本研究は、公益財団法人日本教育公務員弘済会より、平成 31 年度日教弘本部奨励金（研究代表 田宮縁）の助成を受けて行っている。

### 2 シート完成までの経過

#### 【平成 30 年度】

- ・シート作成のねらい、内容、規格等についての検討
- ・試案版の作成
- ・3 園（大井川西幼稚園、静浜幼稚園、サレジオ幼稚園）において試行
- ・試案版の修正
- ・「ファシリテーターの手引き」作成

#### 【令和元年度】

- ・第 1 回市町幼児教育指導リーダー研修会にて説明
- ・4 市（富士市、御殿場市、焼津市、磐田市）及び賀茂地域において試行
- ・シート及び手引き 微修正を経て完成
- ・シート印刷（12,000 部）
- ・第 2 回市町幼児教育担当者連絡会(2/14)において、活用支援研修の説明
- ・R2 年度 5～9 月における活用支援研修実施希望市町の募集（～3/13）
- ・幼児教育センターHP で PDF 版の配信（2 月末）
- ・公立の幼稚園・認定こども園・保育所、各市町幼児教育主管課・教育委員会への配布（3 月末予定）

### 3 シートの内容構成

第 1 部：基本コンセプトの視点から子どもの姿を振り返る

第 2 部：基本コンセプトの視点から日常の実践を自己評価する

第 3 部：園内研修の振り返り

### 4 普及に向けた令和 2 年度計画

5 月 ・市町幼児教育担当者連絡会(5/1)において、シートの広報

6 月 ・活用支援研修の実施（～9 月）

※研修実施市町においては、随時、各園にてシートによる園内研修の実施

7 月 ・後期（10～2 月）における活用支援研修実施希望市町の募集

10 月 ・活用支援研修の実施（～2 月）

※研修実施市町においては、随時、各園にてシートによる園内研修の実施

2 月 ・市町へ R3 年度支援研修会通知

随時 ・「幼児教育センターだより」や HP にて、研修会の様子や参加者の感想を発信

・シート活用成果の検証





## ネット依存対策事業の推進

(社会教育課)

スクリーニングテストの結果や自然体験回復プログラム、ネット依存対策講演会の成果や課題を踏まえ、引き続き、全県を挙げてネット依存対策に取り組む。

### 1 スクリーニングテストの結果（令和元年6～7月実施）

	生徒数（人）	依存リスク該当者	
		人数	割合
中学校	1,118	366	32.7%
高等学校	879	475	54.0%
計	1,997	841	42.1%

### 2 自然体験回復プログラム「つながりキャンプ」

日程	プレ(9/28～9/29)、メイン(11/9～11/10)、フォロー(1/18～1/19)
場所	県立焼津青少年の家（焼津市石津）
目的	インターネットの使用を自らコントロールする力を養う。
参加者	県内の中学生・高校生（プレ6人、メイン4人、フォロー4人）
内容	自然体験活動、認知行動療法、カウンセリング、講演会等

#### <成果と課題>

- ・参加者には、ネット依存度が高リスクから中リスクに改善した事例が見られた。
- ・参加者・保護者アンケートでは、「つながりの大切さを感じた」や「スマホの使用時間を減らしたい」等の記載があり、自分を変えるきっかけづくりとなった。
- ・学校や保護者の関心は高いものの、子供が参加に消極的だった例もあり、少人数の開催となった。今後、キャンプの成果等、広く周知・啓発に努める必要がある。

### 3 ネット依存対策講演会

日程	令和2年2月18日（火）
場所	静岡県男女共同参画センター「あざれあ」2階 大会議室
参加者	学校関係者、保護者、市町担当者等 125人
内容	○講演「インターネット依存とゲーム障害の現状と対処」 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 精神科医長 ○NPO 法人理事長による事例紹介、情報交換（グループワーク）など

### 4 令和2年度取組（予定）

区分	対象	予算額（千円）
スクリーニングテスト	県内の小学生（高学年）1,000人程度	3,000
自然体験回復プログラム つながりキャンプ	県内の小学生（高学年）・中学生	
ネット依存対策講演会	学校関係者、保護者等	